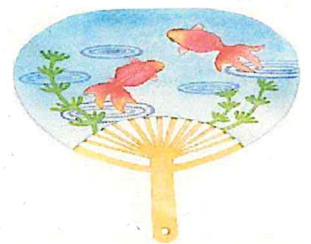


か す み そ う Kasumi sou

令和6年3月9日
第2学年便り第40号
江戸川区立
松江第五中学校

この学年通信の名前は1組のIさんが考えてくれた「kasumi sou」と名付けました。カスミソウの花言葉は夢心地。小さい花で、1輪でも20輪でも100輪でも、時には他の花を輝かせる事もできる美しい花。白色は清らかな心。ピンクは感激。黄色は希望、明るい、元気。この学年が夢のように心地よく、また、個人でも、学年全体でも活躍し、輝けるような学年になるような名前に・・・という思いが込められています。



来週の予定



今日は展示発表会。2年生は林間学校で作成した和紙の団扇や、校外学習の事前学習、各教科の作品が展示されました(´ー`)ノ

日	曜	学校行事等	持ち物・提出物
11	月	50分授業×6 朝礼 中央委員会 保護者会出欠表提出締切 ⑤⑥夢をはぐくむ講演会	白衣
12	火	校外学習 3年生球技大会	
13	水	50分授業×5 ウェルカムガーデンボランティア実施(15時～16時)	
14	木	50分授業×6 数学総合検定 ④卒業式合同練習	
15	金	45分授業×4 卒業式予行 13時下校 都立二次発表 安全指導	白衣持ち帰り

※ 保護者会出欠表の提出締切が11日(月)となっています。未提出のご家庭がありましたら忘れずにご提出ください。2学年の保護者会は全体会(第1体育館)実施後に、各クラスにて学級懇談会を実施予定です。

※ 11日(月)⑤⑥に夢をはぐくむ講演会が開かれます。昨年度はウモス瑠偉さんが来校しました。もう一年経つんですね…。早いもんです。今年は誰が来るのか?去年がサッカー選手だったから、今年は野球選手か?まさか大谷!!!あるわけないか…。スポーツ選手かねえ?2年連続のサッカー関係?松村先生喜んじゃうね。選手じゃなくても、川平慈英とか来ないかなあ…『ク〜〜!!!』

※ 15日(金)には卒業式予行が行われます。昨年とは違い、卒業式本番にも2年生は出席します。最近、制服のボタンが取れている人を見かけます。3年生の大切な卒業式です。ブレザーの前ボタン、袖ボタンはきちんとついているのでしょうか?〇〇ん…。随分前から先生は言った気がするんだが…。



校外学習の重要なお知らせ Part2

先日お知らせした校外学習の1日乗車券ですが、一之江駅では券売機で購入するのではなく、一人一人が駅員室のような場所で購入するそう。既に購入したという2組のO君(このイニシャルトーク意味あるかね…)情報によると、だいたい2分くらいかかったとのこと。火曜日に各クラスで聞いたところでは、購入予定者の8割以上の方が購入していなかった様子。ひとり当たり2分とすると、5人でまとまると10分ってことに。たぶん100人以上の人が1日乗車券を購入するはずなので、これを機に一之江駅の販売システムが改善されるとありがたいのだけど、せめて駅が忙しい時間帯は避けて購入しに行ってもらいたいもんです。基本的に駅の忙しい時間帯とは通勤時と退勤時。休日であれば比較的駅員さんも手が空いているかもしれない…。まあ、あんまりまとまってしまうというのは避けてくださいな。そして、機械相手の購入ではないので、受け応えも考えて行動を。先日の職業体験の経験が生かされると良いなあ…。

裏面に続く



卒業式に向けて。。。

前述しましたが、15日（金）には卒業式予行が行われます。2年生のみんなは卒業式本番にも出席しますので、3年生の最後の姿をしっかりと目に焼き付けてほしいものです。一昔前は、卒業式の時間も2時間を超えることがざらでしたが、最近は時間が短縮されていますので、1時間半といったところでしょうか。昨年も予行には参加していたので、うっすらと覚えている人もいるかもしれませんが、式中に2年生に係る部分は、以下の部分です。

- ・『生徒、職員、起立』『生徒、職員、着席』と藤田先生から号令があった時。
- ・在校生送辞 代表生徒 ○○さんが登壇1歩目で起立、降壇1歩目で着席（無号令）
- ・卒業生答辞 代表生徒 ○○さんが 〃 （無号令）
- ・校歌斉唱 ○○先生から号令あり。

なお、礼のタイミングが昨年と変わりました。

- ・①「礼」の号令で腰からお辞儀②、③のタイミングで体を起こし④で気をつけ。

昨年度は5拍で礼をしていましたが、今年度からは4拍で行います。

きびきびした動きで卒業式に臨んでください。

学年主任のつぶやき

先日校門で週番に立っていると、校門脇のソメイヨシノの蕾がしっかりしてきたことに気付いた。まだまだ開花するのは先の話のようだけど、暖冬と言われた冬の中でも開花に向けた動きはあるようだ。ちなみにこの季節になるとよく耳にする開花予想。南の方から徐々に開花前線が北上するイメージだけれど、今年は暖冬も相まって、東京が全国で一番早いのではとされている。これには理由がある。バラ科の桜は、花の元となる花芽を前年の夏に作る。春のイメージが強い桜だけれど、実は随分と前から花を咲かす準備をしている。この花芽は秋になると寒い冬を越すために休眠に入る。その後、一定の低温と気温の上昇など条件が整うと、花芽は休眠から目覚め、再度成長して徐々に蕾が膨らみ春に開花を迎える。この再成長から開花に至るまでの過程は気温の高低に大きく影響され、蕾の成長速度に気温が直接影響するので、その気温をもとに予想がされる。予想のやり方にはいくつかある。その一例を示すと

- ・2月1日からの最高気温の合算（毎日の最高気温を合計した値）が600℃を超えたところに開花する
- ・2月1日からの平均気温の合算が400℃を超えたところに開花する

といった法則の下で開花予想が出される。今年の冬は2月に入ってから暖かな日が多かった。東京が全国で一番に開花するのではという話もあながち嘘ではないだろう。全国には開花日などを観測するために定められた草木があり、桜の場合は全国に58本の標準木がある。東京都の標準木は靖国神社にあるソメイヨシノ。桜の標準木はソメイヨシノが殆どだが、沖縄県（那覇・宮古島・石垣島・南大東島）と名瀬「ヒカンザクラ」北海道の一部（稚内、旭川、網走、帯広、釧路）は「エゾヤマザクラ」だそうだ。東京は靖国神社に標準木があるが、全国的には气象台や測候所の構内、气象台や測候所近くの公園や神社にある桜が指定されている。

4月に年度が移り変わる日本では、昔から出会いや別れの季節に桜が密接に関わってきた。その昔、日本が戦争の只中では、精神論や生命の象徴としても比喻された桜。現代では使われ方も変化して、学校現場でも入学式や卒業式のイメージがある。合格通知には「サクラ咲く」「サクラ散る」などという表現が使われていた時代もあった。3年生にも高校進学に向けて多くの桜が咲いたと聞く。暑い最中から開花の準備を進め、着実に開花に向けて成長してきた3年生たちの努力が実ったことを称えたい。花はいつか散ってしまうけれど、次の開花に向けて成長し続ける桜のように、3年生のみんなにもこれからの人生を逞しく生きていってほしいと思う。